

最強の反捕鯨国イギリスの映画祭で 日本発信・捕鯨文化を伝える映画を評価

このたび、ロンドン国際映画祭「ロンドン国際映画祭」に八木景子が製作した「ビハインド・ザ・コーヴ ～捕鯨問題の謎に迫る～」が最優秀監督賞を受賞した。

多くの応募作品の中から【なぜ、イギリスの映画祭側が物議を醸す本作をノミネートしたかの理由】を映画主催側に尋ねたところ、以下の3点があげられた。

- 1) ニュートラル
- 2) 情熱
- 3) 映画が素晴らしい

捕鯨賛成、反対は関係ない中で、監督が双方をバランスよくとっている。映画主催者としては、捕鯨賛成という立場ではないが、そこを評価したとの事。

また、八木は今回の受賞に関し、ロンドンで開催される映画祭に拘った理由として、主に2点をあげた。

- 1) IWC国際捕鯨委員会の本部がイギリスにある。
- 2) 反捕鯨家のメインキャンペーン場所になっている。

今回、その思いが実を結んだ形になる。

撮影・監督・編集：八木景子 配給・宣伝：合同会社八木フィルム Behind "THE COVE" ©2015 YAGI Film Inc.

【お問い合わせ先】◆配給・宣伝：合同会社 八木フィルム【加藤・八幡】
TEL: 090-4120-4321 (専用回線) MAIL: behindthecoveJAPAN@gmail.com